

アスモ新聞はアスモのホームページ [www.asumo-kaigo.jp](http://www.asumo-kaigo.jp)からもご覧になれます。上記のアドレスか【在宅介護センター・アスモ】で検索してください。  
「人に喜ばれる仕事を！」のアスモは、みなさまとの新たな出会いをお待ちしております。



代表取締役 花堂浩一  
「おおきな木」  
シエル・シルヴァース  
タインという作家の「  
おおきな木」という絵  
本があるのですが、と  
てもシンプルな物語で  
すが、考えさせられるお話です。

数年後、またやってきました。かつての坊やはいい大人になっていた。「結婚したい。子供が欲しい。だから家が要る」。木は言いました。「この枝を切つてそれで家を建てなさい」。男は枝をすて切つて持つていった。木は嬉しかった。



大きなりんごの木がある。そこに小さな坊やがやってきて、いつも遊んでいた。坊やはその木が大好きで、木も坊やが大好きでした。やがて坊やは大きくなり、木と遊ぶことはなくなりましたが、ある日突然木の前に現れます。木はとても喜んだ。青年になったかつての坊やは木に言った。「お金が要るんだ」それなら「このりんごを売りたい」と木は言った。青年はりんごを全部もぎとつて行ってしまった。それでも木は久しぶりに坊やと会うことができ嬉しかった。



さらに月日は流れ、かつての坊やは中年になつていった。人生にいいことがなかったようで、「遠くへ行きたいから船が欲しい」と言い出した。「幹を切つて船を造ればいい」。男は幹を切り倒し、

船を造つて行つてしまった。「それでも木は嬉しかった」と、その後に「ただそれはほんとうかな？」と書かれていた。重く心に残る一言です。

そしてかつての坊やは老人になつて木に会いに来た。しかしもう木はあげるものがなかった。老人は言った。「もう欲しいものはない。ただ座つて休む場所があればいい」

「それじゃここにお座りなさい」と、木は思いきり背伸びをして切り株になつた自分を差し出した。

あとがきに訳者が「無償の愛」について書いていた。与えて、与えて、さらにと書いていく。それは「無償の愛」なのだ、と。しかし一方でこんな話もよく耳にします。あんなに仲のいい夫婦で、あんなに愛情溢れる家庭で育つたのに息子が非行に走つてしまったと周りが不思議に思うようなケースです。

この物語の展開を辿つても、与え続けた木は幸せになつていようには見えな。なぜならよかれと思つて与え続けた坊やが幸せになつていないからだ。無償の愛は確かに尊い。しかし誰かの成長を願うとき、「与え続ける行為は、もらい続ける人を育てない」ということを訴えているお話なのではないでしょうか？

私も会社の存続が危ぶまれるような中で、スタッフに助けられここまで来たといつも感謝しているのですが、その思いが強くなってしまい、必要なアドバイスや指摘が出来なかつたりすることがよくあります。そんな時、このお話のことを思い出して、私自身が未熟だったと反省しました。相手の成長を願い叱咤・激励することは経営者にとって大切な仕事だと改めて実感させられたのです。



## シニアハウスコム



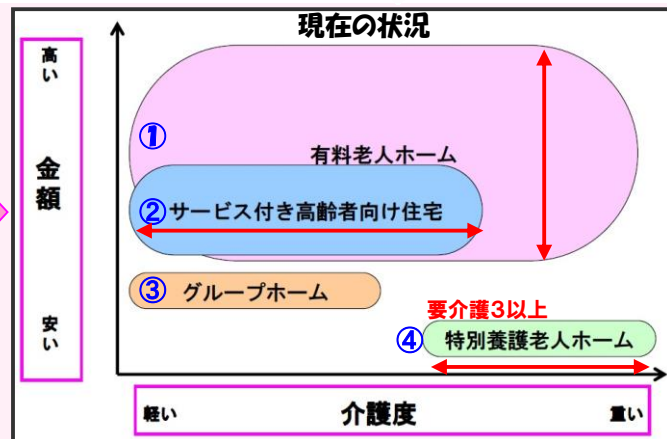
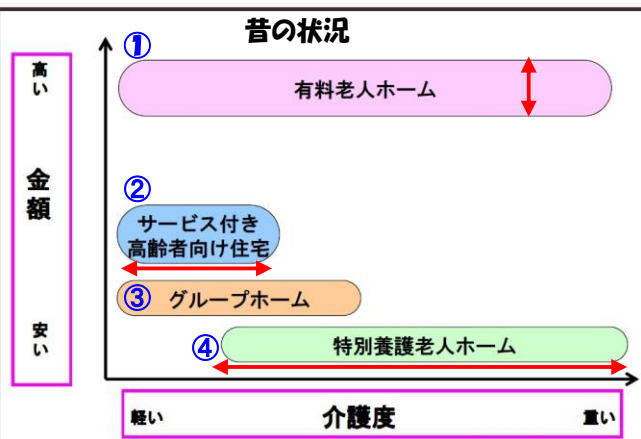
### 0120-5318-77



小川 相議員

こんにちは！今回は、老人ホームの種類と傾向について、グラフと図で説明しますね！

- ①「有料老人ホーム」は、昔より金額が安いホームも開設されてきているのがわかりますね！
- ②「サービス付き高齢者向け住宅」は、昔より介護の受入体制が広がっているのがわかりますね！
- ③「グループホーム」は、昔も現在も、金額・受入体制共に変化がないのがわかりますね！
- ④「特別養護老人ホーム」は、昔より介護の受入体制が狭くなってきているのがわかりますね！

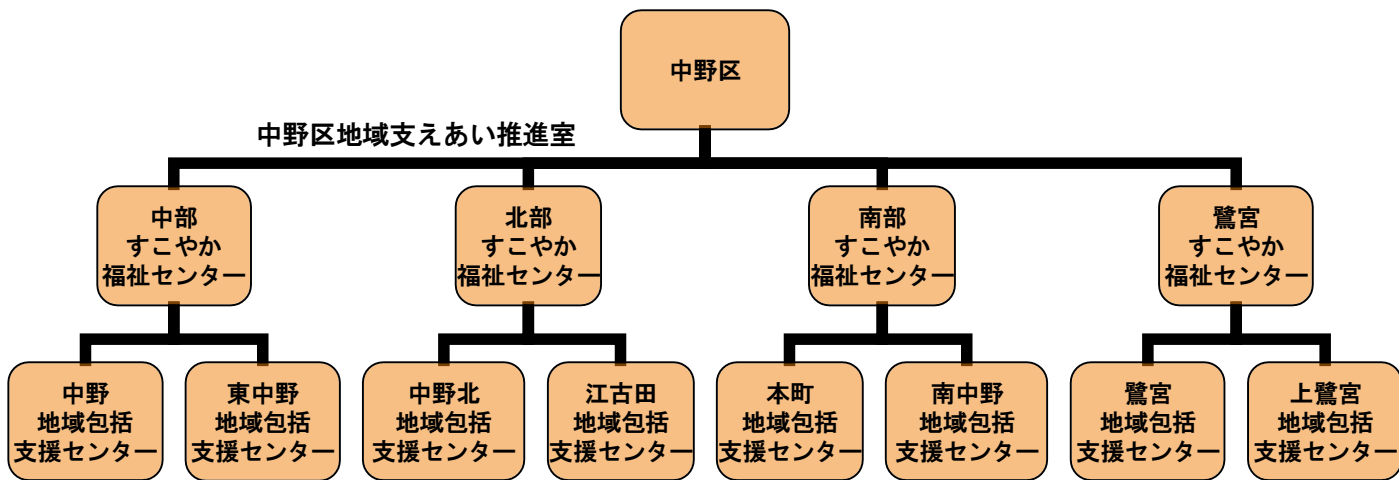


地域包括支援センター(ちいきほうかつしえんセンター)は、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関です。2005年の介護保険法改正で制定され、各区市町村に設置されています。中野区内には4つの圏域に8カ所の地域包括支援センターがあります。

各支援センターには、**保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士**が置かれ、専門性を生かして相互連携しながら業務にあたっています。

法律上は市町村事業である地域支援事業を行う機関ですが、多くの場合、自治体より委託を受けた社会福祉法人などが運営をしています。要支援認定を受けた高齢者の介護予防マネジメントを行う介護予防支援事業所としても機能しています。

これまで市町村の在宅支援センター等で行われていた相談業務等を外部委託することにより市町村の相談窓口負担を軽減するとともに、専門的な知識を持つ職員によりきめ細かい相談業務が行われるようになったと言えます。生活や介護のことなど身近なお困りごとなど、気軽に相談いただける窓口と言えます。



実習生受け入れのご報告

平成27年1月27日・29日・30日・2月6日に、新渡戸文化短大から6名の学生さんが介護職員初任者研修の実習に来社されました。

皆さん、緊張しながらもご利用者様とお話をされ、会話も弾んで積極的に勉強する姿勢が見られました。

実習を承諾してくださった井上静子様、大西善男様、野口美津子様、藤野絹江様、鈴木澄子様、倉科雄一様、根本みき子様、谷村貞子様、大越ヒデ子様  
ありがとうございました

また、ご協力してくださったヘルパーさん方、  
ありがとうございました。

(たんぼぼ介護所長 村岡志づ江)



たんぼぼミニ勉強会のご報告

平成27年1月29日(木)18時から事務所に、ミニ勉強会を開催いたしました。

今回は、今年になって1回目ということで、座談会形式で行いました。

ヘルパーさん同士お茶を飲みながら、楽しいひと時を過ごしながらも色々気づかされることがあったのではないかと思います。

ご参加された8名のヘルパーさん方、お疲れさまでした。

次回のミニ勉強会は、2月27日(金)18時からの予定です。

(たんぼぼ介護所長 村岡志づ江)

